

平成30年2月9日

相生市議会議長
大川 孝之 様

会派名 輝相会
代表者名 角石 茂美

出張報告書

政務活動費により(視察)研修、要請・陳情活動、会議のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

氏名	中野有彦、宮中真木、楠田道雄、三浦隆利、角石茂美	
日程	平成30年2月7日 から 2月8日 まで2日間	
月日	(視察) 研修、要請・陳情活動、会議先	(視察) 研修、要請・陳情活動、会議項目
2・7	和歌山県 田辺市	* 創業支援事業について 1) 事業に取り組み始めた経緯について 2) 創業支援事業の取り組みについて 3) 行政の役割について 4) 今後の事業展開について
2・8	和歌山県 和歌山市	* こども市報について 1) こども市報を発行する目的と経緯について 2) 編集の主体はどなたが行なっていますか 3) 発行の間隔と、部数、配布対象は 4) 費用発生と負担はどの様になっていますか 5) 将来的な展望はどの様にお考えでしょうか 6) こども市報を発行した効果について

旅費 (5名分)	負担金 (名分)	合計 (5名分)
161,700 円	円	161,700 円



視察、研修、要請・陳情活動、会議の成果

田辺市 ※創業支援事業について

- 1) 空き店舗が多く存在し、商店街後継者調査で約半数が「後継者なし」と回答。
回答者の内60才以上が6割以上を占めているため
 - 2) ・賃貸店舗の家賃の1/2 (限度額3万円/月) 12か月限り
・開業にあたり必要となる改修費の1/2 (限度額36万円)
2項目のいずれかを補助
 - 3) 全国商店街支援センターの支援を受け、商店街と商工会議所が実施主体となり、行政と連携する中で商店街における創業支援事業を実施
 - 4) 中心市街地における大型プロジェクトの進行
国土交通省の景観まちづくり刷新支援事業のモデル地区指定による田辺駅前商店街外観修景整備や市街地活性化施設整備などの大型プロジェクトによる面的な整備を始めている。
- 商業中心の街の特徴で創業支援が出来ている。

(資料等添付のこと)

視察、研修、要請・陳情活動、会議の成果

和歌山市 ※こども市報について

- 1) 小学生の保護者代表より、こども向けの新聞を作ってほしいという希望があったため、こども向けのイベント情報など、こどもたちに役立つ情報を分りやすく親しみを持てるように届け、未来を担うこどもたちに学ぶ好奇心や正しい知識をもってもらうことを目的として開始する。
 - 2) 広報広聴課1名が行っている。
 - 3) 年4回 24,000部(B4、フルカラー、4ページ)市内の公立(54校)、私立小学校(1校)支援学校等(5校)、市から提供する配布表に基づき印刷業者が直接各小学校へ配布
 - 4) 予算 964,224円 決算 881,280円
クイズ景品 予算80個 34,560円 決算 23,328円
 - 5) 幼い頃から郷土愛を育むために、さらなる内容の充実を図りたい。
 - 6) ・「クイズ」や「さくひんてん」に多くの応募がある。
 - ・特集で取り上げた動物愛護教室について、学校より広めてほしいとの希望があった。
 - ・こども市報で紹介したイベントや、図書館がおすすめる本を紹介すると、紹介された本の貸し出しが好評である。
 - ・クイズ応募ハガキなどにこども市報の感想などが書かれている場合が多く「いつも楽しみにしています」「勉強になります」などの意見をいただいている。
- 郷土愛を育むために良いと思った。

(資料等添付のこと)